



11月12日、学童保育の部屋にて。指導員の皆さんは6人全員が村の出身です

仲間とともに  
その20

学童保育と  
預かり保育

「ただいま」とやって来る子どもたち。園児はお昼寝、児童は宿題、おやつのは後は室内でも屋外でも遊べます。人気のサッカーや長縄跳びを、指導員の皆さんが安全に気を配って見守ります。「環境は変わっても、家庭的な雰囲気が続けていた」と主任指導員の久保内久美子さん(大久保外内)。多感な子どもたちのようすが気になれば、迎への保護者と相談します。総括指導員の山田眞由美さん(伊丹沢)は「避難中だからと甘えるのではなく自立を目指せるよう」と心がけ子どもたちに関わっているそうです。

活動データ

- 避難後は川俣町に移転。現在は福島市飯野町の「草野・飯樋幼稚園」敷地内の施設で運営されています。
- 現在、園児12人・児童37人が利用しています。預かり保育に2人、学童保育に4人の指導員がいます。

表紙 「ふくしま駅伝」ゴール前の力走  
仲間の待つゴールへひた走る主将・佐藤彰洋選手。チームの健闘のようすはP2の特集で。



住民と親しく交流された信子さまとの記念撮影。前列右から4人目が信子さま



笑顔で言葉を交わす信子さま。励ましをこめた抱擁に涙する人の姿もありました

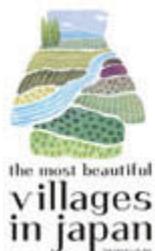
11/7

三笠宮家 寛仁親王妃信子さまとの再会  
伊達東応急仮設住宅を1年ぶりにご訪問

三笠宮家の寛仁親王妃信子さまが伊達東応急仮設住宅を訪れました。信子さまは、療養後に公務復帰した昨年11月にも、療養地であった伊達市を訪れ同住宅を訪問しています。昨年の訪問で住民が古布などでお手玉を作っていると聞き、

布を贈りたいと話していた信子さまは、ご自身の衣服を持参され、住民に手渡し再会を喜び合いました。また住民の皆さんは、手作りのおこわや漬物で信子さまをもてなし、手作りのバッグもプレゼントしました。

交流の時間が過ぎ、見送る一人ひとりの手を握って仮設住宅を後にした信子さまは、その後も贈られたバッグを手に、各所を訪問されたということです。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。